



CORONARY CARE UNIT

CCU冠動脈疾患集中治療室が 新たに開設されました

CCUが新たに独立して開設

神鋼病院CCUは、これまで救急センター上階に位置するICUと共用運用しておりましたが、2012年10月に4階西病棟に新たに独立して開設されることになりました。27床(内CCU4床)で運用され、さまざまな循環器領域疾患の治療にあたります。

積極的に救急医療に参加

当院はこれまで地域救急医療の中核病院として、内科・外

様々な循環器領域疾患に対応

特に、緊急心臓カテーテル検査では受診から検査開始までの時間が極めて短く、訓練された各スタッフのもと迅速に再灌流療法を実施しております。また、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患に限らず、心不全・心筋症・弁膜症・不整脈などといった循環器疾患

科の基本科目はもとより、循環器内科・脳神経外科・整形外科・外科・消化器外科などの専門科目においても、神戸市第二次救急病院群輪番制の一角を担い、救急医療に対しても積極的に取り組んでまいりました。

患者に対して幅広く対応する体制が整っており、あらゆる循環器救急疾患の診療に対応することが出来ます。この度、新たにCCUが開設されることにより、循環器領域において更に高度な医療が提供できるよう努力して参りますので、今後とも温かいご支援、ご指導宜しくお願い致します。

循環器ホットライン 070-6500-7555

循環器疾患の救急症例について、24時間対応の循環器ホットラインを整備しております。お気軽にご相談ください。

Information

Information 1

がん地域連携パスへのご参加のお願い

平成23年6月に兵庫県指定がん診療連携拠点病院の指定を受け、質の高いがん医療を提供できるよう、診療機能の充実と体制作りを目指しております。がん診療の連携についてご理解・ご協力と、がん地域連携パスへのご参加をよろしくお願ひ申し上げます。

*がん地域連携パス対象疾患：肺がん・胃がん・大腸がん・肝がん・乳がん

Information 2

講演会のご案内 ※詳細につきましてはホームページをご覧ください

■ 神鋼感染症フォーラムのご案内

- 日 時：平成24年12月4日(火) 18時30分～19時30分
- 場 所：呼吸器センター・管理棟 5階 大会議室 (神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL(078)261-6739)
- ミニレクチャー：『抗菌薬適正使用の推進—神戸大学病院方式について—』
座長：神鋼病院感染症科 科長 香川 大樹
講師：神戸大学大学院医学研究科特命教授
医学部附属病院 感染制御部長 荒川 創一先生
- その他：日医生涯教育講座認定1単位取得予定

■ 第12回神鋼ウロフォーラムのご案内

- 日 時：平成24年12月6日(木) 18時30分～
- 場 所：呼吸器センター・管理棟 5階 大会議室 (神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL(078)261-6739)
- 演 題：『神鋼病院の診療2012』
演者：神鋼病院泌尿器科 部長 山下 真寿男
- 特別講演：『これでOK！小児泌尿器科診療』
演者：兵庫県立こども病院 泌尿器科部長 杉多 良文 先生
- その他：日本医師会生涯教育認定単位(2単位)を取得しております。
参加費500円。当日お弁当をご用意しております。

■ 第6回兵庫リウマチチーム医療研究会開催のご案内

- 日 時：平成24年12月8日(土) 16時00分～19時10分(開場：15時30分)
- 場 所：神戸メリケンパークオリエンタルホテル 4階 瑞天(神戸市中央区波止場町5-6 TEL078-325-8111)
- ミニレクチャー：『リウマチの早期診断』
座長：神鋼病院膠原病リウマチ科 医長 辻 剛
講師：神戸大学大学院 保健学研究科 三浦 靖史 先生
- 教育講演：『リウマチ治療の医療連携について—信州リウマチネットワークの活動を通して—』
座長：尼崎医療生協病院 柏木 聡 先生
講師：抱生会 丸の内病院 リウマチ科 科長 山崎 秀 先生
- その他：参加費500円

■ オーダーメイド医療研究会 講演会

- 日 時：平成24年12月13日(木) 18時30分～19時30分
- 場 所：呼吸器センター・管理棟 5階 大会議室 (神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL(078)261-6739)
- ミニレクチャー：『前立腺癌に対するオーダーメイド治療について』
講師：神鋼病院 泌尿器科部長 山下 真寿男
- その他：日本医師会生涯教育講座1単位申請しております

医療法人社団 神鋼会 神鋼病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47
TEL：078-261-6711 (代表)
FAX：078-261-6726
URL：http://www.shinkohp.or.jp/
発行責任者：病院長 山本 正之
編集責任者：神鋼病院広報委員長 山神 和彦

造血細胞移植支援外来開設のお知らせ

神鋼病院では、造血幹細胞移植を受けられる患者さん・ドナーの方とご家族を対象に、移植医療に関するあらゆる問題に対して、「造血細胞移植支援外来」で総合的・継続的にサポートしていきます。外来のご利用、ご質問などがございましたら、遠慮なくご連絡下さいますようお願い申し上げます。

■造血細胞移植支援外来とは？

- ① 造血細胞移植を受けた患者さんを対象に、退院後の長期的な合併症に対する対応策や日常生活などの指導を行い、移植治療後のQOLが向上できるように生活支援を行っています。
- ② 当院でこれから移植を受けられる患者さんとそのご家族に、移植治療や入院中の生活等について情報提供を行っています。
- ③ 骨髄バンクドナー・血縁ドナーの方に、骨髄採取および末梢血幹細胞採取についての情報や入院前のオリエンテーションを行っています。

■外来の対象となる方は？

- ① 造血細胞移植を受けた患者さんご家族
- ② 当院でこれから造血細胞移植を受けられる患者さんご家族
- ③ 地域の医療機関からの紹介患者さんご家族
- ④ 当院で骨髄採取および末梢血幹細胞採取を受けられる骨髄バンクドナー・血縁ドナーの方ご家族

■どんな相談ができるの？

- ・退院後の食事は、どのような事に注意をしたらいい？
- ・退院後はいつから職場に復帰できる？
- ・移植治療にはどの位の医療費がかかるか心配。
- ・移植治療にはどんな副作用があるの？
- ・家族が移植治療を受けることになり、これからどう接したらよいか不安。など

■相談方法

- 外 来 日 : 火・木曜日 13~16時
- 場 所 : 血液内科外来診察室
- 問 合 せ : 血液内科外来受付
TEL: (078) 261-6711 (病院代表)
- 担 当 者 : 造血細胞移植コーディネーター 松本 真弓



■循環器内科実績

□ カテーテル検査症例内訳

	2009年	2010年	2011年
急性心筋梗塞	48	63	45
不安定狭心症	12	45	36
狭心症	243	265	285
冠れん縮狭心症	6	10	7
陳旧性心筋梗塞	37	61	63
陳旧性心筋梗塞・狭心症	39	89	65
狭心症・閉塞性動脈硬化症	-	-	29
正常冠動脈	27	33	48
弁膜症	4	11	2
心筋症	11	14	15
タコツボ心筋症	8	6	5
心筋炎	0	2	1
心不全	13	21	10
肺塞栓症	5	11	1
閉塞性動脈硬化症	99	120	98
腎動脈狭窄症	5	24	5
肺高血圧	0	5	23
合 計	562	780	738

□ 不整脈関連検査・治療

	2009年	2010年	2011年
ホルター心電図	264	341	328
電気生理学的検査	4	3	3
ペースメーカー植え込み術	29	22	24

□ 急性心筋梗塞治療成績

	2009年	2010年	2011年
急性期インターベンション治療例	48例	63例	45例
再疎通成功率	100%	100%	100%
死亡率	0例	0例	0例
死亡率	0%	0%	0%

□ 心臓核医学検査

	2009年	2010年	2011年
タリウム負荷心筋シンチ	297	247	271
テクネシウム心筋シンチ	2	3	4
心臓交感神経心筋シンチ	7	14	15
心臓脂肪酸代謝心筋シンチ	1	2	2
合 計	307	266	292

□ 循環器生理検査

	2009年	2010年	2011年
心臓超音波検査	2,640	3,103	3,428
トレッドミル	282	289	298

□ 年間カテーテルインターベンション数

	2009年	2010年	2011年
冠動脈カテーテル治療(PCI)	190	277	265
末梢動脈カテーテル治療(PPI)	49	67	63

今回は、阪急岡本駅・JR摂津本山駅が最寄りで本山街園(バラ園)のそばにある「長坂医院」を御紹介させていただきます。



長坂医院

- 神戸市東灘区岡本2-4-11
- TEL: 078-451-3611
- 診療科: 内科
- 休診日: 日曜・祝日
- 診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	○	×	○	×

※火曜日の午後は17時から

国が「地域包括ケアシステム」を推進している中で、我々開業医は地域にある社会資源として、その役割を果たしていくかばならないと認識しています。ご家族のご意向等で在宅での療養・看取りを希望される患者さんについては、各医療機関との連携を図りながら支援を行ってまいります。

診療にあたり心掛けて
いることは何ですか？
病気と向き合っておられるのは患者さん自身ですので、出来る限り患者さんの生活に沿った治療を行うように心掛けています。患者さんに服薬や食事について説明した際には、患者さん主体の治療をしたいの思いから必ず最後に「お願いします」と添えています。患者さんに私の意図をご理解頂ければと考えておりますし、患者さんからも気持ちや伝えてもらいたい関係作りに努めております。



どのような患者さんが
来院されますか？
この地域は阪神大震災の被害が非常に大きく、以前住んでおられた多くの方々は転居されました。父の代から来られている患者さんもおられますが、震災後に建設されたマンション等に移り住んで来られた方々の受診が大部分を占め、特にご高齢の方が多いです。

診療を開始されて
どれくらいになりますか？
昭和38年、父が兵庫区で開業したことが始まりです。昭和48年に現在の地に移転し診療を続けておりましたが、平成7年の阪神大震災で建物は全壊しました。平成8年12月に再建を果たし、父に代わり私が診療を引き継ぎ現在に至っております。

内科
長坂医院 [ながさかいいん]



脳梗塞急性期の治療、さらに新しい時代に

最新の武器・ステント型血栓回収機器が次々と開発され臨床応用が始まっています。
神鋼病院脳神経外科では、多くの患者さんが新治療の恩恵を受けることが出来る体制を整えています。

最新の急性期治療法で 救命や後遺症の低減を

2011年の厚労省人口動態統計月報年計では、脳血管障害による死亡は死因の第4位でした。近年は高血圧治療の普及により脳出血が減少する一方、死亡者数の約4分の3が脳梗塞となっております。脳血管障害は死因としては減少していますが、麻痺や脳機能障害などの後遺症が残るため、寝たきりを含む重い介護要因の実に約4割を占め第1位です。さらに長期入院が必要となり医療費高騰の原因ともなっています。

脳血管障害を減少させるためには、まずは予防が重要で、次いで高血圧や脂質異常症などの管理、心房細動などへの抗凝固療法の徹底が重要です。

rt-PA 静注療法の適用時間が4時間30分に

急性期脳梗塞の血栓溶解療法には組織プラスミノゲン活性化因子 (rt-PA) が有効です。1995年のNINDS研究に基づき、発症3時間以内の急性期脳梗塞に対 rt-PA の使用が認可され、わが国でも2005年10月から保険適用となりました。しかしながら実際の臨床現場では脳梗塞のわずか3〜5%の人にしか使用されていないのが現状です。その後2008年のECAST3研究で rt-PA 静注療法が発症3〜4.5時間の脳梗塞にも有効である

さらに増える 血管内治療の選択肢

脳主幹動脈が閉塞する急性期脳梗塞では、梗塞の範囲も広く、二次的な脳浮腫・出血性梗塞を来すことから、発症早期に閉塞血管の再開通が得られないと生命予後や機能予後が極めて不良となります。そ

■表1	長 所	短 所	備 考
rt-PA 静注療法	エビデンスが確立している。簡便かつ迅速に投与可能	出血のリスクあり。内頸動脈閉塞例では効果が少ない発症3時間以内のみ	2005年保険適用 発症4.5時間以内まで適用 拡大の見通し
局所血栓溶解療法	エビデンスがある 血管壁を損傷しない	出血のリスクあり。大きな血栓は溶けにくい	ウロキナーゼ、rt-PAとも動注は保険適用外
Merci®リトリバーシステム	内頸動脈など太い血管の閉塞に有効性が高い	血管損傷による出血のリスクあり	2010年保険適用
Penumbra システム®	中大脳動脈などの中程度の血管閉塞に有効性が高い	血管損傷に寄る出血のリスクあり	2011年保険適用
Solitaire™MFR	再開通率が極めて高い。再開通までの時間が短い	血管攣縮を来しやすい	本邦未承認

で rt-PA 静注療法が行えない例や rt-PA の無効例に対し、カテーテルを用いた血管内治療を行い血栓回収・血流再開を進めています。

最新の武器、ステント型血栓回収機器

最近、欧州ではステント型の血栓回収機器が次々と開発され臨床応用が始まっています。その代表的なものが Solitaire FR (Covidien 社製) や Trevo Pro、Revive など、閉塞部位でステントを開き、そのままステントごと血栓を回収するデバイスです (図1)。発症8時間以内の急性期脳梗塞に対する成績は再開通率が実に90%、3ヶ月後日常生活自立度は47%と極めて良好でした。2012年2月の国際脳卒中

学会で発表された Solitaire FR と Merci® リトリバーの比較試験 (SWIFT 研究) でも再開通率・90日後の転帰・死亡率のいずれにおいても Solitaire FR の優越性が示されました。同機器は早くも2012年3月に米国 FDA で認可が得られ、現在欧米の臨床現場では圧倒的にステント型機器が多く使われており、良好な成績が報告されています。

新治療の恩恵を多くの患者が受けられるように

日本でもようやく臨床治療が始まろうとしています。神鋼病院では神戸市立医療センター中央市民病院と連携し、いち早くこのステント型機器を使えるように体制を整えています。(表1参照)

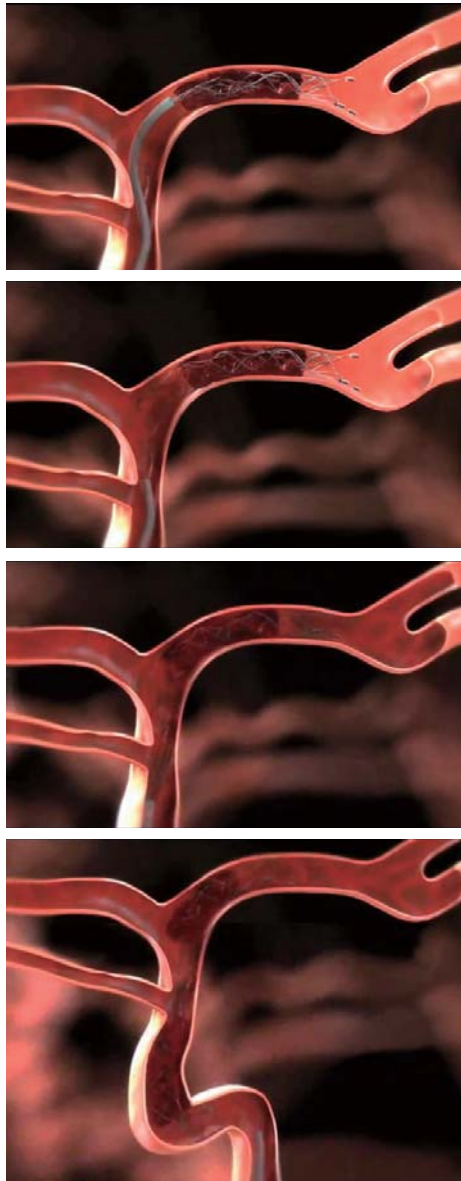
急性期脳梗塞に対する治療法は、近年めざましい進歩を続けています。これらの治療の恩恵を一人でも多くの患者さんがうけるため、市民への脳卒中の啓発や救急隊と病院、病院同士の連携を進め、一分でも早く脳卒中センターを有した専門医療機関に搬送できる体制を構築することが重要です (右ページ写真)。

神鋼病院でもいよいよ2013年1月から脳神経外科・脳卒中内科のスタッフが揃えた総勢10名の脳卒中センターがスタートします。脳卒中集中治療室

(SCU)、高度治療室(HUC)を合計9床装備し、24時間当直体制も強化、いつでも脳卒中患者を受け入れる体制を整えます。SCUを兼ね備える事により脳卒中中の機能予後が改善する事は既に多くの研究で実証されています。

また脳血管内治療デバイスの進歩は日進月歩であり、Merci® リトリバーも欧米ではすでに時代遅れとなりつつあるようです。常に最新の機器を、神鋼病院を受診していただいた患者さんに提供できるように、日々努力していきます。

神鋼病院脳神経外科では、2012年4月の新体制発足以降すでに14例の急性期脳梗塞に対し血栓再開通療法を行っており、良好な成績を収めております。これは国立循環器病センターなど、いわゆるメガホスピタルと比較しても引けを取らない症例数です。ハードとソフトの両方を兼ね備えた神鋼病院脳卒中センターについては、次号でご報告します。



■図1
上) ステントを血管閉塞部で広げ、血栓を引っ掛けて、そのまま一気に血栓を回収します。
下) 展開したステント型の血栓回収装置です。(Trevo Pro)

【神鋼病院脳神経外科】
◆脳卒中直通コール・相談窓口
080-4613-6238
080-4653-9531
◆脳卒中相談メール
nouge1@shinkohp.or.jp